

平成29年度 宮城県サポートセンター支援事務所
地域福祉マネジメント研究会 拡大セミナー

実 施 要 綱

**「被災地における地域福祉の展開を考える」
～本人の意思に基づく地域生活を支えるために～**

1 目 的

- ①宮城方式のサポートセンター（以下、サポセンと称す）並びにそこで登用されて支援員等の当事者性、市民専門性に依拠した活動に対する評価、検証を行います。
- ②サポセン機能を活かし、地域人財を活用した住民の支え合い活動の推進にむけた処方箋（宮城県版、地域共生社会実現のために、住民の活動の組織化と地域の覚悟）
 - （1）宮城方式サポセンのマネジメントに関わった立場から
 - （2）地域の福祉力強化と福祉の地域力の強化に必要な視点
 - （3）宮城県における共通言語化を前提に、『地域支え合いセンター』構想上記事項について、マネジメント研究会委員による討論を公開で行う。

2 日 時

平成30年3月27日（火）午前10時30分～午後4時30分

3 会 場

宮城県庁 講堂

4 プログラム（別紙のとおり）

5. 拡大セミナー受講申し込み

定員 150名

参加費 無料

6 申し込み方法

別添の申込書に必要事項を記入の上、メール、FAXにより当支援事務所あて送付する。申込締切は平成30年3月20日（火）とする。（定員に満たない場合はその後も受付を行います。）

別紙 日 程 (プログラム)

時 間	内 容
10 時	受付
10 時 30 分	開会 地域福祉マネジメント研究会、拡大セミナー開催趣旨説明 宮城県サポートセンター支援事務所 所長 鈴木 守幸
10 時 40 分 ～12 時 30 分 (110 分)	<p>【第1部】</p> <p>①被災地における福祉系・地域系支援員調査事業 調査報告 (30分) 「これからの被災地に求められる地域人財とは」 発表者 (報告者) 特定非営利活動法人 地星社 代表 布田 剛 氏</p> <p>②復興を支えた地域住民の想いを活かすプロジェクト 報告 (30分) 「南三陸町・気仙沼市・山元町・七ヶ浜町での住民ヒアリング等を通じて」 発表者 (報告者) 東北学院大学特任教授 本間 照雄 氏</p> <p>③調査報告に係る質疑・討論 コーディネーター 宮城県サポートセンター支援事務所 真壁 さおり サポセン、支援員等への的確な評価を各委員に求めていきます。</p>
12 時 40 分 ～13 時 30 分	昼食・休憩
13 時 30 分 ～16 時 30 分	<p>【第2部】 (180 分) マネジメント研究会委員のバトルトーク</p> <p>○サポセン機能を活かし、地域人財を活用した住民の支え合い活動の推進に向けた処方箋を考えます。 (宮城県版、地域共生社会実現のために、住民の活動の組織化と地域の覚悟)</p> <p>(1) 宮城方式サポセンのマネジメントに関わった立場から 運営・管理に関わった立場からサポセン、支援員への評価は？ 制度・サービスの補完的な役割に囚われた評価からは見えない、ソーシャルワークの敗北 災害ケースマネジメントを实践する、またサポセンの活動からの弁護士の活動</p>

	<p>(2) 地域の福祉力強化と福祉の地域力の強化に必要な視点</p> <p>従事者研修を通じて地域力を高める機会を得たこと、併せて、サポセンをマネジメントしていくと受託組織の構造的課題が顕在化している。結果的に、住民主体の地域福祉展開を展望してきたが出来なかったのか、展望すら持たなかったのか？</p> <p>包括的な支援体制構築、地域福祉による融合で展開を目指す好機、地域福祉推進の起爆剤にもなり得るが、市町社協の覚悟は如何に？</p> <p>(3) 宮城県として、住民主体の組織化された『地域支え合いセンター』（平時のサポセン機能）での「我が事」「丸ごと」を実践することで地域福祉の推進を目指すための提言を行う。</p> <p>サポセン機能は、まさしく「我が事」「丸ごと」。</p> <p>では、サポセンに求められる中心的な機能は何か？</p> <p>市町村社協に『サポセン機能』の支え合いセンターを黒子として支える役割を期待して、大丈夫か？</p> <p>以上のことについて、当事務所アドバイザー、行政、社協、NPO等の支援団体、福祉関係者、学識経験者、法律家等からなるマネジメント研究会委員等で討議いたします。</p> <p>第2部の進行を合わせて、トータルコーディネーター役を、当マネジメント研究会の座長、日本福祉大学教授 平野 隆之 教授が行います。</p> <p>会場からの質疑・意見を受けながら、議論を深めていきたいと思ひます。</p>
16 時 30 分	閉会

平成29年度 宮城県サポートセンター支援事務所

地域福祉マネジメント研究会 拡大セミナー 平成30年3月27日（火）開催

「被災地における地域福祉の展開を考える」～本人の意思に基づく地域生活を支えるために～

参加申込書

FAX送信先：022-217-1601 ※送り状は不要です

メール送信先：miyagisaposen@mbr.sphere.ne.jp

所属	
TEL	
FAX	
メール	

	参加者氏名	フリガナ	役職
1			
2			
3			
4			
5			

※平成30年3月20日（火）までにFAXまたはメールにてお申し込みください。

問い合わせ先
宮城県サポートセンター支援事務所 担当 増子・小島
住所 980-0014 仙台市青葉区本町3-7-4 宮城県社会福祉会館3階
TEL 022-217-1617 FAX 022-217-1601
E-mail miyagisaposen@mbr.sphere.ne.jp